

プロフィール



名前	川島 千帆
所属部署	帯広畜産大学 畜産フィールド科学センター
職種	准教授
この研究室に入った日	2007. 5. 1.
出身地	北海道小樽市
趣味	息子と遊ぶこと (ザリガニ獲り、虫捕り等)

インタビュー

Q1 現在の研究室の仕事内容を教えてください。

どの研究も乳牛の生体を用いています。

主に乾乳期の牛に飼料添加剤を給与して、その効果を分娩後の栄養代謝状態、疾病発症や繁殖機能の回復（初回排卵・メトリチェック等）で評価しています。最近では生まれた子牛の栄養代謝状態や発育も調査して、乾乳期（胎子期）母牛の栄養の重要性も明らかにしていきたいと思っています。

時間も労力もかかる大変な実験ですが、学生が毎日の飼料添加剤給与や分娩観察してくれているので進めることができます。本当に学生たちに感謝です！

Q2 研究室の仕事の進め方は？

息子がまだ小学生なので出来ないことがたくさんあり、学生や他の研究室の先生を頼ることが多いですが、頼りすぎると色々出来なくなってしまうので、時間の融通が利くような実験を2~3つくらい持って出来るだけ自分で実施し、採血や直腸検査、ホルモン測定等の腕が鈍らないように努力しています。

休みの日の実験は、息子も一緒に連れて行って手伝ってもらうこともあります。息子は研究室の行事も一緒に参加して遊んでもらい仲良くなっています。この間も一緒にザリガニ獲りに行きました、そして食べました。

Q3 若手研究者へのメッセージ

乳牛のような大型動物を使う研究は効率が悪く、実験できる場所も年々限られてきているので難しいかもしれませんが、体力勝負の仕事は若いうちしか出来ませんので、積極的に取り組んで欲しいなと思います。もしも研究環境が厳しくて出来ない・・・と困っている方がいましたら、ぜひ連絡ください！何かのお役に立てるかもしれません。

そして女性の研究者・学生さんへ・・・妊娠・育児中はなかなか実験が思うように進まず悩み、他の人に頼ることに申し訳ない気持ちばかり先行してしまうかもしれません。そういう風になるのが怖くて、子どもを持つことも躊躇してしまうかもしれません。でもそこは凶太い心を持って割り切って欲しいと思います。将来、自分が自由に動けるようになった時に、サポートを受けた人に返すことが出来なくても、若い世代をサポートすることで恩返しになると思います。決心すると凶太い心はどんどん成長していきます。そうやって女子はおばちゃんになるのだなと日々実感していますが、おばちゃんになることは楽しいなとも感じますので、ぜひこちらの世界へ！